

動物実験に関する自己点検・評価報告書

琉球大学

2024年2月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程（規程及び体制等の整備）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学における動物実験の組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「基本指針には概ね適合しているが、機関内規程の一部に改善すべき点がある。」とした以前の自己点検・評価に基づき、規則の改定を進めた。
4) 改善の方針、達成予定時期 2023 年度より新規則を施行することになった。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学動物実験委員会委員一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学の規則・細則では、3 種のカテゴリーの委員の構成と役割について定めていなかったが、2022 年度に委員構成と役割を見直して規則改正を進めた。2022 年度は以前のままであったため、一部に改善すべき点がある、とした。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後も継続して改善を進める。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学動物実験計画書・動物実験計画（変更・

追加) 承認申請書・動物実験結果報告書、飼養保管施設設置承認申請書、施設等廃止届、飼養保管施設・動物実験室管理状況一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。 小規模飼養保管施設の新規設置や変更の申請に合わせて、飼養保管手順書・マニュアル等の作成を進めた。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後も、動物種や使用目的に合った飼養保管手順書・マニュアル等の作成および充実に努める。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、琉球大学千原地区病原体等安全規則、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル、動物実験計画書、教育研究用途における向精神薬取扱いの手引き(研究基盤統括センター)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。 動物を用いる活動に関連した、安全衛生マニュアルの内容を追加した。動物実験計画書に安全管理に注意を要する項目を列記し、申請者、審査委員および事務局で相互に確認するようにした。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験等実施に関わる安全衛生についての情報共有や啓蒙に今後も努める。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室設置承認申請書および施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届、医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニユア

<p>ル、琉球大学動物実験等における災害時対応マニュアル、飼養保管施設・動物実験室設置状況一覧、2022 年度実験動物使用保管状況報告書および自己点検票（別記様式 7）、フィールド科学センターにおけるアニマルウェルフェアに対応した家畜の飼養管理方法、JGAP 認証（肉用牛 飼養工程・自給飼料生産工程 登録番号 L470000001 初回認証日 2021.3.1,更新審査合格 2023.2.28)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管手順書・マニュアル等の策定が、すべての施設について完了しているわけではない。その作業を推進する委員会活動も不十分である。そのため、一部に改善すべき点がある、とした。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>2023 年度から改定規則が施行され、委員構成や委員会活動の分担を見直している段階にある。動物種に応じた飼養保管手順書・マニュアル等の策定や見直しを、委員会主導で継続する。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>国際動向をふまえた対応や学内飼養保管体制の強化を図るために、両生類や魚類を用いる動物実験等実施も動物実験規則の適用対象とすることとし、2022 年度に規則を全面改正して 2023 年度に新規則を施行することになった（両生類・魚類の動物実験等実施は 2024 年度から適用対象）。</p>
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、「動物実験計画書の申請について」（申請者向けガイドライン）、動物実験委員会議事録、2022 年度動物実験計画書、2022 年度動物実験計画書一覧、2022 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>委員会は適正に機能しているが、3 種のカテゴリーの委員の構成と各委員の役割分担について、改善すべき点がある。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>3 種のカテゴリーの委員の構成と役割を定めた新規則を 2023 年度より施行する。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、2022 年度動物実験計画書、2022 年度動物実験計画書一覧、2022 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>2022 年度に実施された動物実験計画は 2022 年度からの新規と前の年度からの継続を合わせて 215 件あり、報告書回収率は 100%であった。一部の計画に対して助言・指導が必要であったが、概ね適正に動物実験が実施されていたことを確認した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>今後も動物実験の実施状況の把握に基づき、助言・指導を進める。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p>

<p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域利用手順書、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル、2022 年度動物実験計画書、2022 年度動物実験計画書一覧、2022 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物を用いる活動について、安全衛生マニュアルの追加を行ったことは評価できる。しかし、実験で使用するホルムアルデヒドに対する過敏反応の報告が 1 件あった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>安全管理に関する教育訓練内容の充実や、学内での情報共有に努める。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、2022 年度動物実験計画書、飼養保管施設・動物実験室設置状況、実験動物飼養保管状況報告書および自己点検票（別記様式 7）、飼養保管および使用の現況</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>2020 年度以降に新規設置申請や変更申請のあった小規模飼養保管施設の手順書・マニュアル等の整備は進んでいるが、全ての飼養保管施設についての整備や見直しが進んでいるわけではない。そのため、一部に改善すべき点がある、とした。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>飼養保管に関わる問題が起こった場合の対応策について検討する。また、今後も継続して、実験動物管理者に手順書・マニュアル等の作成を指示し、委員会がその作成を支援する。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p>

<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、飼養保管施設・動物実験室設置状況、2022 年度 実験動物飼養保管状況報告書および自己点検票（別記様式 7）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 全学的な施設等の維持管理の方法が確立されていないため、「概ね良好であるが、一部に改善すべき 点がある」とした。
4) 改善の方針、達成予定時期 2023 年度の規則改正を契機に本格的な検討を始めたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2022 年度教育訓練実施記録、教育訓練受講者リスト、教育訓練代替申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 本学の教育訓練に有効期限や再受講義務を定めることを、2021 年度に委員会で決定した。しかし、 教育訓練実施に関する規則・細則の改定や周知が完了していない。そのため「一部に改善すべき点 がある」とした。
4) 改善の方針、達成予定時期 教育訓練の実施についての規則・細則の改定を行い、2023 年度からは有効期限や再受講義務を定 めて実施する予定である。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、動物実験委員会議事録、動物実験についての情 報公開（研究推進課ウェブページ）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針への適合性および飼養保管基準への遵守状況について自己点検・評価を実施し、基本指針

に従って情報公開を実施した。

4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。